

## 第2回 福井鉄道福武線活性化連携協議会 議事録

日 時 平成20年7月28日(月) 午後2時～午後4時30分  
場 所 A O S S A 研修室601  
出席者 別紙のとおり  
資 料 別紙1～4、資料1、2及び補足資料のとおり

《向坂副課長が進行》

開会

1. 挨拶

2. 議題

(1) 予算について

予算について事務局より説明があり了承された。

(2) 福井鉄道福武線活性化総合連携計画の策定について

資料に基づき事務局より説明があり、主な質疑応答は以下のとおりである。

- 座 長 別紙2の連携計画の策定で、目次が書かれておりますけれども、3.福井鉄道福武線の再建に関しては、大体再構築実施計画の中身になると考えてよろしいのでしょうか。
- 事務局 同じような形になると思いますが、別添補足資料の36、37に概略的なイメージだけ示してございます。
- 委 員 企業アンケートは従業員だけに調査票を配布して書いてもらうのか、並行して企業の総務担当者や人事担当者にもヒアリングとかアンケートとか、何かする予定はあるのでしょうか。
- 事務局 マイカー通勤に関しては、企業の方針が大きな制約になってきますので、従業員の方にアンケートをお願いする手順の中で、総務担当者の方になると思うんですが、1枚程度の簡単なアンケートで、企業の考え方みたいなどころをお聞きする設問をしたいと考えております。
- 座 長 できれば、対応していただけるとありがたいと思います。
- 委 員 問いの中で、満足度と改善重要度というのがございます。細かい項目がたくさんあると思うんですが、事業者の方には耳障りかもしれませんけれども、この中に、駅員と乗務員の接客態度といいますか、そういう項目もこの際やっていただければいいのではないかと。
- 事務局 この案は決まった形ではございませんので、また御意見いただきまして、改善していきたいと思っております。
- 委 員 住民にアンケートするのと、沿線企業の従業員の方にアンケートをとるということで、ダブる可能性があると思うんですけれども、それはそれで割り切っていけばいいという考え方でよろしいのでしょうか。
- 事務局 それを区別してアンケートするというのもなかなか難しいですから、それぞれで実施していきたいと考えています。
- 座 長 アンケート調査の中身で、満足度と改善重要度を尋ねるわけですがけれども、書く人がわかりますかね。例えば、非常に満足しているけれど、改善重要度に対してはどういうふうに答えたらいいのかというのは、何となくわかるんだけど、すんなり書いてもらえるかどうか。
- 事務局 文章的に少し工夫させていただきたいと思います。
- 委 員 沿線企業というのは、どれぐらいの範囲を想定されていらっしゃるんですか。
- 事務局 沿線の半径1km位にある企業ということで考えております。駅から歩いて15分ぐら

いのところでは。

- 委員 アンケートの実施時期は、後のスケジュール表を見ますと、8月中ぐらいになりますか。
- 事務局 アンケートについては、アンケート票と合わせて、「かしこいクルマの使い方」、福井鉄道さんの時刻表、それから、福井市の場合は「のりのりマップ」を入れます。鯖江市さん、越前市さんも、何か利用促進になるようなものを入れまして、そういうものもあわせて、8月の中ごろにアンケートに入っていくたいと考えています。アンケートの配布回収は、各市のサポート団体の協議会を通じまして、企業、自治会配布も合わせて約2,000世帯を対象に実施し、その後、大急ぎで分析をしたいと考えています。日程が切迫しておりますけれども、皆様の御協力をいただきまして実施したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。なお、1世帯に1枚ではなく、2~3枚アンケート用紙を入れたいと思います。御家族で、例えば高校生、お父さんお母さんという形で、アンケートをお願いする予定です。
- 委員 アンケートの5ページですけれども、問1の(1)のところ、下のところに「1から6を回答した方は(2)へ、7から8を回答した方は問2へお進みください」と書いてあるんですけれども、7から8ということは、利用したことがないという方なんです、その方に、福武線のサービスに対する満足度と改善重要度についてお尋ねしますということだと思っておりますけれども、利用されていない方が、電車の遅れとか始発の時刻とか普通運賃とかお聞きになるのはいいと思うんですけど、利用されていない方に聞くような設定の仕方が必要じゃないかなと思うんですけど、どうでしょうか。
- 事務局 アンケートをやって、全く利用したことがない人というのはどのぐらいいるのかというのが、まずあるんですが、そういう方に対して、満足度ですとか改善重要度を聞かないというのも非常にもったいないということがまず一つあります。それと、そういう全く利用したことがない人というのは、福武線にどういうイメージ、感想を持っておられるのか。そういうところから、そういう人に対して、逆にどういったことをアピールした方がいいのかということが見えてくるんじゃないかということで、集計するときに、利用したことがある人としたことがない人を合わせて集計しますと、かなりバイアスがかかるのではないかと思いますので、集計するときはそこを明確に分けて、全く利用したことがない人はどういう意識を持っているのか、そういうところを分析できればと思ひまして、こういう設問にしております。
- 座長 一番心配なのは、一番右の「わからない」に全部つけてしまう可能性があるかもしれないので、それを考えないといけません。
- 事務局 設問の内容については、検討させていただきます。
- 事務局 先ほど、モビリティマネジメントという言葉を使って、単にアンケートだけではなくて、利用促進の一つの働きかけをやるというようなことを申し上げたところでございますけれども、これについて少し補足説明させていただきます。アンケートの6ページまで、問3までが通常のアンケートという仕立て方になっておりますけれども、問4から、今、お手元の方に回覧をさせていただいておりますけれども、「かしこいクルマの使い方」という、県の総合交通課の方で昨年度、試験的にやったものをいただきまして、今、回覧させていただいております。かしこいクルマの使い方を皆さんでもっと考えましようというものです。何でもかんでも車でいいんでしょうかというような、そういうことを冊子の形にして、ほかの交通手段も使いましようというようなことを説明した小さなパンフレットですけれども、今回アンケートと一緒に送りたいと思ひます。今回、協議会の中でそれを増刷しまして、お配りしようと考えています。その関係もあって、アンケートについてはすぐにはできないというようなことを申し上げ

ているんですけれども、そういう形の、まず啓蒙といいたいでしょうか、情報提供という形をさせていただこうと思います。ほかにも、福武線の近くにお住まいでいながら、実際に鉄道をお使いにならない方というのは、時刻表すらお持ちでないということで、改めて時刻表の方も、各御家庭に配布するという形をとりたいと考えています。NP OのROBA（路面電車とまちづくりの会）というところでつくりました「のりのりマップ」という、バスの経路を示したマップも一緒にお配りして、車の乗り過ぎに注意しましょうばかりじゃなくて、電車やバスを使うときにはどうしたらいいのという情報として、一緒にお配りするという形で、実際の交通行動も変えていただきたいというようなことも、モビリティマネジメントという言葉で表現をしておりますけれども、そういうようなことも一緒に仕組もうというふうに今回考えているのが、今までの通常のアンケートと違ったところじゃないかというふうに思っております。

○座 長 福井県のパーソントリップ調査でもこの内容を入れて、公共交通を使う利用が少し増えたという結果が出ていますので、そういう意味で、これを実際やってみて、利用者が何%か増えていくというデータが出てくるとおもしろいと思います。

(3) 鉄道事業再構築実施計画の策定について

(4) 今後のスケジュールについて

資料に基づき事務局より説明があり、主な質疑応答は以下のとおりである。

○座 長 鉄軌道高度化事業の制度がありますね。そこでは平成 20 年度から鉄道事業再構築事業が拡充という形で、活性化対策という部分があって、それから、安全対策というところで中期整備計画みたいなものを立てるとある。要するに、第三者機関による評価に基づいて老朽化した施設、設備に対して中期整備計画を立てて、それに対する支援制度があるというようなことが書いているんですけれども、今回の鉄道事業再構築実施計画の中にはいわゆる第三者機関の評価に基づくものではないが、安全対策を含めてやるということで、そういうような内容でよろしいのでしょうか。

○中部運輸局 イメージは、鉄道事業者、三セクを含めて、緊迫した事業者が多い中で、いろいろな補助をつけて援助していこうという趣旨がございます。今までやってきた安全性の緊急評価を受けてやってきたのが、近代化補助というのがございました。これが今年、20 年度で一応終わりになります。続いて援助する方法はないかというようなことで、新しい補助制度を構築していく中で、鉄軌道の計画安全事業が新しくできる仕組みになっておるんですが、今回、計画安全事業につきましては、以前に安全の緊急評価を受けてきたものが、平成 13～14 年に受けた評価で時間もたっておることもあり、もう一度再評価を受けた中で、何を優先的にやっていくのかというようなところを第三者の評価を受けた上で、計画を策定していただいてという趣旨でございます。今回の再構築事業の実施要綱だとかそういったものがまだ示されてきておりません。この秋にも出てくるとは思いますけれども、今まで中長期の整備計画を出していただいているんですけれども、これにかわるものとして制度化された計画安全事業を、この再構築事業の中で何をやっていこうというところを策定していただくんですが、ただ（計画安全事業と再構築事業の事業が）ダブる部分が出てくるかと思うんですね。ですから、そのところをどういうふうに切りかえていくかというところが、要綱等がまだ示されておりませんので、この時点でどういうふうに行くかは決められませんけれども、いずれにしても、客観的に第三者の評価をもう一度受け直していただいて、それを今回の再構築実施計画の中で改めてうたい込んでいただいても、どちらへ変わってもいいような形に、まず拾い出しをしていただくのかなというふうに、今の時点では思っています。もう少しまた具体的になりましたら御説明ができるかと

思いますし、改めて御相談させていただきたいと思います。

- 委員 再評価ということをおっしゃいましたが、第三者評価ということは誰がやるのか。その仕様とかそういうものはどうなるのかというのはあるんですか。
- 中部運輸局 今まで受けていただいたもので変わらないということでしたら、今まで評価を受けていただいたものでも結構でございます。新たなものが出てきたりとか、年数がたつて、今まで、例えばCという評価であったものがBになったり、AとかBになると厳しくなってくるんですけども、経年劣化で、平成13～14年ぐらいに評価をしてもらったものが随分劣化をしてきている可能性がある。それで、改めてここを直したい。もう相当劣化が進んできておるので、当時はBなりCということで、後回しでいいよと言われていたものが、そのまま後回しでいいよという状況ならいいんですけども、劣化が進んできて、Aになるというような状況でしたら、もう一度評価を受けていただいて、これはもう早目にやった方がいいですよというものを、第三者の評価を得ていただくのが必要なと、そういうことでございます。
- 座長 その評価というのは、何年かに1回と決まっているのですか。
- 中部運輸局 そういうことではありません。今回の制度の中で、もし改めて評価を受け直した方がいいと、説得力が出てくるというものについて、評価を受けていただくというものでございます。
- 事務局 福井鉄道の場合は、平成15年度に財団法人の鉄道総合技術研究所に委託して調査を実施しております。それに基づいて、平成17年度から20年度までの4カ年計画ということで整備プログラムというのをつくっております。先ほどからおっしゃっていますのはこの件でありまして、これで重要度、緊急性の高いものは順次整備が終わっていますので、あと残っているものについて再点検するのもしないのか、そこら辺を一度考えてみようじゃないか、そういうことをおっしゃっております。
- 中部運輸局 評価にかかる費用についても、補助の対象になります。今度の計画策定にもしその評価をしなければいけないということであれば、その評価のための、計画策定の一環の中で対象にすることも可能というふうに、聞いております。ただ、細かいところは、担当の方に確認しないといけません。
- 委員 別紙3-1と別紙2の目次についてですが、鉄道事業再構築実施計画と地域公共交通活性化・再生総合事業計画というのは、別紙2の中でいいますと、鉄道事業再構築実施計画は、4の地域公共交通総合連携計画の4-4の計画に基づく事業に入るといようなイメージでいいのですか。
- 事務局 連携計画の方になりますと、利用促進策等も含まれますので、再構築実施計画は鉄道事業だけという形で、別途に作るという形になります。
- 委員 この計画の一部に入ってくるのではなくて、また別計画をつくるということですか。
- 事務局 そうです。それが今年度、新たに法の改正でできた制度でございます。ただし、連携計画がないとつけれないという制度になっています。
- 座長 総合連携計画をつくって、それをもとに、そこから鉄道再構築事業というものがピックアップされていって、もう一方では、総合活性化再生事業をこの連携計画の中からピックアップしていくというような形になろうかと思えます。
- 委員 そうしますと、計画としては地域公共交通総合連携計画なのだけれど、実際は、再生総合事業計画と再構築実施計画と二つの計画ができるということですか。
- 事務局 再生総合事業の方はソフト事業でございますので、どういう形で上がってくるかによっては、形が決まってこないこともあります。それも含めた形でやっていきたいと思えます。再生総合事業は、法改正の前からの事業でございますので、再構築事業が新たに加わったと考えております。

- 委員 各市においては地元から意見を聞くような場を設けておられると思うわけですが、そうした意見というものは、この今の計画の中でいうと、ソフト事業といいますか、地域公共交通活性化再生総合事業計画に反映されるのかなと思うんですが、いつこれを聞いていただけるというか、吸い上げていただけるのか。発言の場所といいますか、その辺を教えていただければと思います。
- 事務局 今後のスケジュールというところにもかかってくると思いますので、先にちょっとスケジュールの方を説明させていただいて、今の御質問のお答えとさせていただきたいと思います。本協議会は、次に9月上旬と下旬に第3回と第4回を予定しております。全体計画の方は、先ほどのアンケート調査を7月の下旬から8月いっぱいかけて住民の皆さんの御意見をお聞きしていただくということでさせていただきたいと考えております。その中で、住民のそれぞれの方に直接アンケートという形で聞いていく形ですけれども、これを配布していただくというのが、今後、各市さんと団体さんの方をお願いしていくという形になるんですけれども、その中で、サポート団体みずからが、やっぱりこういう案があるとか、いろいろな御意見をお持ちだと思います。その辺と、それから、アンケートで出てきました意向とを合わせながら、第3回協議会、第4回の協議会の中でそれをぶつけていただくという形で、今後、ソフトの方の支援策については各市のサポート団体の中でも、8月から9月にかけていろいろもんでいただいて、そしてこのアンケートと合わせて、9月の3回、4回協議会の中で協議させていただきたいと、このように考えております。先ほどの再構築事業と連携計画との違いという部分ですけれども、再構築実施計画につきましては、7月から9月までの間に計画を練りまして、本協議会の場で承認をいただくという形になっているんですけれども、この連携計画については10月下旬に国へ送付するという形になっています。再構築実施計画につきましては、計画をつくって認定の申請をします。ですから、連携計画と再構築実施計画は違うもので、連携計画を踏まえて再構築実施計画はつくりますけれども、別個の計画としてつくって、再構築実施計画は国の認定をいただいた上でその後の事業が行われていきます。特に土地の購入については、認定を受けて各市においては契約ができるというようなことと理解しております。以上がスケジュールで、合わせてそれぞれの団体さんの方でも活動をお願いして、9月の3回、4回の中で地元の方の御意見をぶつけていただくというような形になれば一番ありがたいということで考えておりますので、よろしくをお願いします。
- 委員 もう一つ提案でございますけれども、せっかく今日のこういう会議が持たれているわけですけれども、一度委員の皆さん全部、福武線の武生―田原町間で電車に乗っていただいて、各駅、全部見ていただくといったことを御提案したいんですが、いかがでしょうか。正直言って、私も福井から来ますけれども、南の方へは行ってないということで、駅舎の実態、いろんなものがあるかと思います。駐車場の問題も。そういうことから、一度フリー切符を使って、皆さんに御参加いただいたらと思います。
- 座長 それについても、チェック項目なり何なりをつくることをしながら、もし可能であれば検討して頂きたいと思います。
- 事務局 今回の御指摘が非常に重要だと思われましたので、ちょっと御説明したいと思うんですが、先ほどのアンケートの資料2の問3で、駐車場の整備、駅へのバス路線の増設、新設、駅・電停の場所についてここで直接お伺いすることにしております。サポート団体の皆さんについても、いろいろな意見があると思うんですけれども、このアンケートで、そういう意見を集約していきたいというのが一つの趣旨でございます。ただし、ソフト的なまちづくりとか観光というような設問はありませんので、これについては自由意見を入れるような必要があるのかなと考えたところでございます。

- 座 長 アンケートについて、いろいろ御意見、修正の案が出ていますけれども、修正に関しては事務局の方でどのように進めていきますか。
- 事務局 本日お聞きしました御意見等も合わせ訂正し、できましたら座長と御相談の上、また各委員さんに送らせていただきたく思いますので。またその時点で御意見をいただきたいと思います。
- 委 員 アンケートについては、時間的な余裕が非常に短いので、それぞれの諸団体に配布方法を検討するというか、枠を決めて頂きたい。そうしないと、我々として現地におけるそれぞれの仕事が非常に遅れていくということがありますので、その点は早目早目で対応していただきたいと思います。ついでに、今、スケジュールの中で、9月上旬に素案というスケジュールがありますが、ちょっと懸念していますのは、福井鉄道の再建計画といいますが、この項目が連携計画の中に示されてくると思うんですね。そういう関係からいきますと、これに付随する現段階におけるいわゆる協議会との関係、それから各自治体の取り組み状況、こういうものを抜きにしてこの協議会で協議できるのかどうか。そこら辺の計画策定の段階における取り組みの状況がどう動いていくのかという問題がございますので、県における官民協議会なり、自治体における各議会との対応問題なり、こういうものを抜きにしていけるのかどうか。9月までにそういう対応が可能なのかどうかという不安視というものがあると思うんですが、そこら辺の見解はどうなるんですか。
- 事務局 官民協議会の話が出てございますけれども、その辺は並行した形でやっていく形にはなりますが、この中では、どういうふうにご利用していこうとか、利用促進みたいな形になりますので、官民協議会が決まらないからという形ではなくて、この中で自発的に進めていきたいと思っております。当然、そういう傾向を見守りながら書かせていきますけれども、官民協議会の結論が出てないからということではございませんので、あくまでも連携計画は福武線をどう利用していくか、どう活かしていくかという形になりますので、これだけは先に進める形にはなっています。
- 座 長 最終的には向こうの影響を受けるかもしれないけれども、こちらはこちらで議論、検討を進めていって、どういうふうになれば市なりあるいはその利用者なりが支援していけるような体制をつくっていくかということが大事であって、市長が前回のときお話があったように、最終的には影響を受ける可能性はゼロとは言えないけれども、とにかくこっちをきちっとやっていくことが、市議会等も支援はしやすくなるだろうということだったと思いますので、こちらはこちらでしっかりした計画をつくっていくということで、協力をお願いしたいと思います。それから、今日提出されている連携計画のイメージも、どちらかというと、今までのいろんな調査をまとめてつくったのをベースにしておりますので、そういう意味でいうと、利用者、サポート団体の動きというものをあまりこの中に入れてないと思うんですね。鉄道をどうやって残していくかというのは、サポート団体がどういうふうに運動を盛り上げていくかということが非常に重要だと思いますので、その辺の支援団体の動きというか活動をこの中に入れることが可能なのかどうかということも多分出てくるんじゃないかという気がするんです。サポート団体の動きというか、それを知ることがなかなかできないので、もし差し支えなかったら、簡単に、今どのようなことを進めているかとか、現状とか、あるいはこの機会に伺ってよろしいですかね。
- 委 員 福井市のサポート団体協議会としては、まだ一体的な大きな動きにはなっておりませんが、地区のサポート団体協議会があります。麻生津地区と清明、みのり、木田地区の沿線の自治会で中心になって動いていただいているという形になっています。その中で、麻生津地区ではフォーラムを開いて、区民の意見を広く聞く場を設けました。

それから、清明地区の方では、清明、みのり、木田と合わせた形で、横断的な集まりを開催しております。そういうことで、住民の意識改革、盛り上がりを図っています。細かいことですが、麻生津地区では電車が入るたびに町の歌を鳴らして駅の雰囲気を変えるというような試みをやっております。フォーラムの中では、いろんな意見が出てまいりました。乗っている方、使っていない方の意見もございます。やはり大きいのは、使いたいけれども駐車場がないとか、駅まで行く足がないという問題でございます。具体的には、パーク・アンド・ライド方式の駐車場がありますけれども、狭いということ、それから団地を抱えていますので、駅まで行くとしても、バスといえますか、コミュニティバスのようなものが必要だというような意見が特に多かったように思います。

○委員 鯖江市では2回の各団体の打合会を実施しています。初回は、初年度からの経緯と三つの市の取り組みの状況をお話して、それぞれの区長会内の主要な四つの団体の中で具体的にどういうことをやっていただけるかということをお考えになって集まろうということになっております。区長会は10地区ございますが、四つの地域は沿線に近い地域。あとの六つの地域はむしろ福鉄とはかかわりの薄い地域になります。その四つの区長さんを中心にして三つのチームの研究班をつくりました。パーク・アンド・ライドですが、駅近くに駐車スペースを設けられるかどうかを調べてみようというのが一つのチーム。もう一つは、乗るお客さんがどうしたらメリットがあるように感じられるかということ。そしてもう一つが、駅とコミバスとの連携の調整ができるかどうかという、この三つを主要団体の御意見をいただいてやりたいと思っております。アンケートが非常に重要でありますので、早急にアンケートをまとめ上げていただいて、少なくともお盆前ぐらいは配布できるようにしていただきたいと思っております。

○委員 越前市では総会の後、それぞれの連絡協議会に加盟しております団体に対して、乗る運動を中心とした取り組みを要請してまいりました。さらに、今月10日に再度各団体の代表にお集まりいただきまして、えちぜん鉄道の部長に、取り組んだ経過について報告をいただき、さらに、我々が福武線を応援するための協力体制がとれるかどうかについても検討しようということにいたしました。各団体でそれぞれの会員に福武線を利用していただくことに中心を置いております。したがって、区長会としては、市内に17地区ありますが、全会長に一度福武線に乗ってもらいたいので、福井市で自治会の会議があった際に、出席者全員が福武線を利用するというので、先日、全員乗ってもらいました。自分たちでまず福武線の状態を確認しながら、今後の取り組みをしていきたいということと、さらに区長会の会長会議の際、必ず福武線を利用することについての意思合わせを行っています。今、特に暑い時期でビール電車が動いていますから、各地区では1回はこのビール電車を利用してもらいたいと意思合わせをして、利用運動を進めるという方向で取り組みを行っております。越前市の家久駅につきましては、地元住民の声が強まりまして、自分たちの金で駅舎を改善しよう、自転車置き場を改善しようということを決断いたしました。資金対策も終わりました。他のところも要望が数多くございますので、自分たちで改善できる方向で、各地域の区長中心に取り組みをしている状況でございます。意欲を持って取り組んでいるということだけ御報告したいと思います。

○座長 3市のサポート団体の状況を伺い、いろんなヒントみたいなものがたくさんあるんじゃないかと思えます。フォーラムを開催したり、あるいは乗る運動を展開されていますけれども、そういう運動を例えばモビリティマネジメントとして何か組み合わせて、アンケート調査だけじゃなくて、もっと強く自治会の中に入り込んだモビリティマネ

ジメントみたいなものをサポート団体と連携しながら組めないか。その辺も入れられるといいのかなという感じがしました。それから、鯖江市さんの方では、三つのチームで調査をやられているということですので、また機会があれば、この中で結果を御紹介していただければ、またいろいろな具体的なアイデアが出てくるのではと思います。それから、自分たちでできることをやるということは非常に大事なことだと思いますので、連携計画の中で自分たちで支えていくという意欲みたいなものが示せるというのが大事なことだと思いますので、その辺もうまく検討していければと思います。

○事務局 別紙 3-2 にあります福井鉄道福武線再構築実施計画策定部会の設置について御了承をお願いしたいと思います。

○座 長 福武線再構築実施計画策定部会ということで、委員のリストがありますけれども、こういう形で検討を進めていきたいと思っておりますけれども、御承認をお願いできればと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委 員 皆様方に大変御尽力いただきましてありがとうございます。まだいろいろなところを皆様方にお世話になりますけれども、どうかひとつよろしくお願い申し上げます。

○事務局 次回につきましては、先ほどスケジュール表で御説明しましたとおり、9月を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

○座 長 以上をもちまして、すべての議事が終了しました。皆さんの御協力、ありがとうございます。

以上

## 第2回 福井鉄道福武線活性化連携協議会 出席者名簿

日時 平成20年7月28日(月)14:00～16:30

場所 AOSSA 研修室601

役員	種別	所 属	役 職	氏 名	出欠 代理出席者
座長	第3号	福井県立大学経済学部	准教授	浅沼 美忠	○
	第3号	福井県警察本部交通部	部長	前田 達男	○ 白崎課長
監事	第3号	福井県総合政策部	企画幹	笹井 博見	○
監事	第2号	福井県土木部	技幹	近藤 幸次	○ 中村課長
	第2号	福井鉄道株式会社	代表取締役社長	山内 和久	○
	第3号	福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会	理事	宮本 清司	○
	第3号	福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議	会長	斉藤 啓介	○ 内田副会長
	第3号	越前市・福武線を応援する連絡協議会	会長	大柳 登	○
会長	第1号	福井市	市長	東村 新一	○ 佐藤特命幹
副会長	第1号	鯖江市	市長	牧野 百男	○ 辻本課長
副会長	第1号	越前市	市長	奈良 俊幸	○ 河瀬課長

オブザーバー	国土交通省中部運輸局鉄道部	部長	渡邊 正文	○ 大野課長
--------	---------------	----	-------	--------

〔総合連携計画作成市〕

福井市

鯖江市

越前市

〔事務局〕

福井市 巻田交通政策室長

同 脇本都市戦略部副理事

同 向坂交通政策室副課長

同 松井交通政策室主任